

名 称	目 的	構 成 員
会派代表者 会議	会派間の意見の調整その他会議運営上必要と認める事項について協議又は調整すること	議長、副議長及び各会派（所属議員を除く。）の代表者
議会広報 委員会	議会の活動状況及び情報を広く市民に伝え、開かれた議会の一層の推進を図る	議長、副議長及び委員

吉川市議会会議規則の一部を改正する規則

委員会提出議案

議会活動の範囲の明確化を図ることから、地方自治法の一部が改正されたことに伴う改正を行う必要があるため改正するものです。

《改正後》

協議又は調整を行うための場として、会派代表者会議及び議会広報委員会を設ける。

議員提出議案

意見書

今定例会では、次の1件を可決し、内閣総理大臣及び環境大臣に提出しました。

「緑の社会」への構造改革を求める意見書

一、日本の誇る環境技術を駆使して環境産業の活性化を促すこと。そのために3年間で10兆円規模の投資を行い、今後5年間で100兆円の市場規模、200万人超の雇用を実現すること。

一、2002年には、太陽光発電などの再生エネルギーの1次エネルギー構成率20%を目指す。特に太陽光発電については2020年までに10倍とする政府の導入手引の倍増を検討し、例えば全小中学校への設置など大胆な取り組みをすること。

一、電気自動車、プラグイン・ハイブリッド車など次世代自動車の普及を急ぎ、5年後に100万台、2020年に

新車販売の70%超を目指すとともに、温室効果ガス排出削減に資する観点から公共交通機関の活性化に対する支援を大幅に拡充すること。

一、省エネ住宅・ビル等の建設を大規模に促進するとともに、環境モデル都市の対象都市を拡大するなど、さらなる国の支援を拡充すること。

一、森林吸収量の目標として掲げる温室効果ガス排出削減3・8%の実現に向けて、林業と建設業の協働も行いつつ間伐・植林などの森林整備を進めること。さらに、これらにより林業、造園・建設業など関連業種で新たな雇用を創出すること。

一、バイオ燃料事業を拡大強化し、その利活用によって地域の特性を生かした活性化を図り、バイオマスタウン300地区を早期に実現すること。

一、エコ・ポイント事業（温暖化対策行動等に対してポイントを発行するもの）を拡充させるなど、国民生活部門における温室効果ガス排出削減のための活動を支援すること。

議員提出議案審議結果

◎=提出した会派、○=賛成、×=反対、△=一部賛成

議案番号	議 案 名	委員会	結果	自民	共産	公明	市改	民主
委第1号	吉川市議会会議規則の一部を改正する規則	省 略	原案可決	○	○	○	○	○
第 1 号	「緑の社会」への構造改革を求める意見書	省 略	原案可決	○	○	◎	○	○
第 2 号	国民の財産に係る疑惑解明を求める意見書	省 略	否 決	×	◎	×	○	○
第 3 号	生活保護母子加算の復活を求める意見書	省 略	否 決	×	◎	×	○	○
第 4 号	障害者自立支援法の「応益負担」制度廃止を求める意見書	省 略	否 決	×	◎	×	×	○

※自民=自由民主党吉川市議員団、共産=日本共産党吉川市議員団、公明=公明党吉川市議員団、市改=市民改革クラブ、民主=民主党

平成20年12月定例会審議結果の中の議員提出議案に誤りがありました。お詫びして次のように訂正します。

議案番号	議 案 名	委員会	結果	自民	共産	公明	市改	民主
第 21 号	「混合型血管奇形」の難病指定を求める意見書	省 略	原案可決	○	○	○	◎	○
第 22 号	安心の介護サービスの確保を求める意見書	省 略	原案可決	○	○	◎	○	○
第 23 号	消費税増税はやめ家計をあたためるための減税の実施を求める意見書	省 略	否 決	×	◎	×	△	×
第 24 号	「汚染米」不正流通事件の徹底解明と再発防止策及び米政策等に関わる意見書	省 略	原案可決	○	◎	×	△	×
第 25 号	雇用の安定と中小零細企業への経済対策を求める意見書	省 略	原案可決	○	◎	×	○	○